

消費動向調査(全国、平成 24 年 12 月実施分)
調査結果の要点

平成 24 年 12 月の一般世帯の消費者態度指数(季節調整値)は、11 月の 39.4 から 0.2 ポイント低下して 39.2 となり、4 か月連続で前月を下回った。消費者態度指数を構成する 4 項目の意識指標のうち、「雇用環境」は前月と比べて上昇したものの、「暮らし向き」「収入の増え方」「耐久消費財の買い時判断」は低下した。

消費者態度指数の動きから見た 12 月の消費者マインドは、**弱い動きがみられる。**

(据え置き、前月から表現の変更はなし。)

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	(前月差)
平成 24 年	10 月調査	39.7	(0.4)
	11 月調査	39.4	(0.3)
	12 月調査	39.2	(0.2)

平成 24 年 12 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」が 2 か月連続で減少した。他方、「低下する」は 4 か月連続で増加し、「変わらない」は横ばいとなった。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が依然として高水準である。**

(前月から表現の変更はなし。)

1 年後の物価の見通し(一般世帯、原数値) (単位:%)

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 24 年	10 月調査	6.7	20.9	64.7	7.7
	11 月調査	7.4	24.5	60.6	7.3
	12 月調査	8.1	24.5	59.6	8.0

「低下する」と見込む割合の過去平均(平成 16 年 4 月～平成 24 年 12 月)は 8.5%。

「上昇する」と見込む割合の過去平均(同上)は 57.2%。

消費動向調査(全国、平成 24 年 11 月実施分)
調査結果の要点

平成 24 年 11 月の一般世帯の消費者態度指数(季節調整値)は、10 月の 39.7 から 0.3 ポイント低下して 39.4 となり、3 か月連続で前月を下回った。消費者態度指数を構成する 4 項目の意識指標のうち、「収入の増え方」は前月と比べて横ばいとなったものの、「暮らし向き」「雇用環境」「耐久消費財の買い時判断」は低下した。

消費者態度指数の動きから見た 11 月の消費者マインドは、**弱い動きがみられる。**

(下方修正、前月：弱含みとなっている。)

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	(前月差)
平成 24 年	9 月調査	40.1	(0.4)
	10 月調査	39.7	(0.4)
	11 月調査	39.4	(0.3)

平成 24 年 11 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」が 4 か月ぶりに減少した。他方、「低下する」は 3 か月連続で増加し、「変わらない」も 4 か月ぶりに増加した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が依然として高水準である。**

(前月から表現の変更はなし。)

1 年後の物価の見通し(一般世帯、原数値) (単位: %)

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 24 年	9 月調査	6.4	23.3	62.3	8.1
	10 月調査	6.7	20.9	64.7	7.7
	11 月調査	7.4	24.5	60.6	7.3

「低下する」と見込む割合の過去平均(平成 16 年 4 月～平成 24 年 11 月)は 8.5%。

「上昇する」と見込む割合の過去平均(同上)は 57.2%。

消費動向調査(全国、平成 24 年 10 月実施分)
調査結果の要点

平成 24 年 10 月の一般世帯の消費者態度指数(季節調整値)は、9月の40.1から0.4ポイント低下して39.7となり、2か月連続で前月を下回った。これは、消費者態度指数を構成する4項目全ての意識指標が低下したためである。

消費者態度指数の動きから見た10月の消費者マインドは、**弱含みとなっている。**

(据え置き、前月から表現の変更はなし。)

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	(前月差)
平成 24 年	8月調査	40.5	(0.8)
	9月調査	40.1	(0.4)
	10月調査	39.7	(0.4)

平成 24 年 10 月の一般世帯の1年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」が3か月連続で増加し、「低下する」も2か月連続で増加した。他方、「変わらない」は3か月連続で減少した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が依然として高水準である。**

(前月から表現の変更はなし。)

1年後の物価の見通し(一般世帯、原数値) (単位:%)

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 24 年	8月調査	6.1	24.7	62.0	7.2
	9月調査	6.4	23.3	62.3	8.1
	10月調査	6.7	20.9	64.7	7.7

「低下する」と見込む割合の過去平均(平成 16 年 4 月~平成 24 年 10 月)は8.5%。

「上昇する」と見込む割合の過去平均(同上)は57.2%。

消費動向調査(全国、平成 24 年 9 月実施分)
調査結果の要点

平成 24 年 9 月の一般世帯の消費者態度指数(季節調整値)は、8月の40.5から0.4ポイント低下して40.1となり、2か月ぶりに前月を下回った。消費者態度指数を構成する4項目の意識指標のうち、「収入の増え方」は前月と比べて上昇したものの、「暮らし向き」「雇用環境」「耐久消費財の買い時判断」は低下した。

消費者態度指数の動きから見た9月の消費者マインドは、**弱含みとなっている。**
(据え置き、前月から表現の変更はなし。)

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	(前月差)
平成 24 年	7 月調査	39.7	(0.7)
	8 月調査	40.5	(0.8)
	9 月調査	40.1	(0.4)

平成 24 年 9 月の一般世帯の1年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」が2か月連続で増加し、「低下する」も3か月ぶりに増加した。他方、「変わらない」は2か月連続で減少した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が依然として高水準である。**

(前月から表現の変更はなし。)

1年後の物価の見通し(一般世帯、原数値) (単位:%)

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 24 年	7 月調査	7.4	24.9	60.6	7.1
	8 月調査	6.1	24.7	62.0	7.2
	9 月調査	6.4	23.3	62.3	8.1

「低下する」と見込む割合の過去平均(平成 16 年 4 月～平成 24 年 9 月)は8.5%。

「上昇する」と見込む割合の過去平均(同上)は57.1%。

消費動向調査(全国、平成 24 年 8 月実施分)
調査結果の要点

平成 24 年 8 月の一般世帯の消費者態度指数(季節調整値)は、7月の 39.7 から 0.8 ポイント上昇して 40.5 となり、3 か月ぶりに前月を上回った。これは、消費者態度指数を構成する 4 項目全ての意識指標が上昇したためである。

消費者態度指数の動きから見た 8 月の消費者マインドは、**弱含みとなっている。**
(据え置き、前月から表現の変更はなし。)

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	(前月差)
平成 24 年	6 月調査	40.4	(0.3)
	7 月調査	39.7	(0.7)
	8 月調査	40.5	(0.8)

平成 24 年 8 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」が 4 か月ぶりに増加した。他方、「低下する」は 2 か月連続で減少し、「変わらない」も 4 か月ぶりに減少した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が依然として高水準である。**

(前月から表現の変更はなし。)

1 年後の物価の見通し(一般世帯、原数値) (単位:%)

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 24 年	6 月調査	7.7	23.2	61.3	7.8
	7 月調査	7.4	24.9	60.6	7.1
	8 月調査	6.1	24.7	62.0	7.2

「低下する」と見込む割合の過去平均(平成 16 年 4 月～平成 24 年 8 月)は 8.5%。

「上昇する」と見込む割合の過去平均(同上)は 57.0%。

消費動向調査(全国、平成 24 年 7 月実施分)
調査結果の要点

平成 24 年 7 月の一般世帯の消費者態度指数(季節調整値)は、6 月の 40.4 から 0.7 ポイント低下して 39.7 となり、2 か月連続で前月を下回った。これは、消費者態度指数を構成する 4 項目全ての意識指標が低下したためである。

消費者態度指数の動きから見た 7 月の消費者マインドは、**弱含みとなっている。**
(下方修正、前月：ほぼ横ばいとなっている。)

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	(前月差)
平成 24 年	5 月調査	40.7	(0.7)
	6 月調査	40.4	(0.3)
	7 月調査	39.7	(0.7)

平成 24 年 7 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」は 3 か月連続で減少し、「低下する」は 3 か月ぶりに減少した。他方、「変わらない」は 3 か月連続で増加した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が依然として高水準である。**

(前月から表現の変更はなし。)

1 年後の物価の見通し(一般世帯、原数値) (単位: %)

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 24 年	5 月調査	6.7	20.8	65.5	7.0
	6 月調査	7.7	23.2	61.3	7.8
	7 月調査	7.4	24.9	60.6	7.1

「低下する」と見込む割合の過去平均(平成 16 年 4 月～平成 24 年 7 月)は 8.6%。

「上昇する」と見込む割合の過去平均(同上)は 57.0%。

消費動向調査(全国、平成 24 年 6 月実施分)
調査結果の要点

平成 24 年 6 月の一般世帯の消費者態度指数(季節調整値)は、5月の40.7から0.3ポイント低下して40.4となり、2か月ぶりに前月を下回った。消費者態度指数を構成する4項目の意識指標のうち、「耐久消費財の買い時判断」は前月と比べて上昇したものの、「暮らし向き」は横ばいとなり、「収入の増え方」「雇用環境」は低下した。

消費者態度指数の動きから見た6月の消費者マインドは、**ほぼ横ばいとなっている。**

(下方修正、前月：持ち直し傾向にある。)

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	(前月差)
平成 24 年	4 月調査	40.0	(0.3)
	5 月調査	40.7	(0.7)
	6 月調査	40.4	(0.3)

平成 24 年 6 月の一般世帯の1年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」は2か月連続で減少した一方、「低下する」は2か月連続で増加した。また、「変わらない」は2か月連続で増加した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が依然として高水準である。**

(前月から表現の変更はなし。)

1年後の物価の見通し(一般世帯、原数値) (単位:%)

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 24 年	4 月調査	5.8	19.1	68.1	6.8
	5 月調査	6.7	20.8	65.5	7.0
	6 月調査	7.7	23.2	61.3	7.8

「低下する」と見込む割合の過去平均(平成 16 年 4 月～平成 24 年 6 月)は8.6%。

「上昇する」と見込む割合の過去平均(同上)は56.9%。

消費動向調査(全国、平成 24 年 5 月実施分)
調査結果の要点

平成 24 年 5 月の一般世帯の消費者態度指数(季節調整値)は、4月の40.0から0.7ポイント上昇して40.7となり、2か月ぶりに前月を上回った。これは、消費者態度指数を構成する4項目全ての意識指標が上昇したためである。

消費者態度指数の動きから見た5月の消費者マインドは、**持ち直し傾向にある。**
(据え置き、前月から表現の変更はなし。)

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	(前月差)
平成 24 年	3月調査	40.3	(0.4)
	4月調査	40.0	(0.3)
	5月調査	40.7	(0.7)

平成 24 年 5 月の一般世帯の1年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」は5か月ぶりに減少した一方、「低下する」は4か月ぶりに増加した。また、「変わらない」は5か月ぶりに増加した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が依然として高水準である。**

(前月から表現の変更はなし。)

1年後の物価の見通し(一般世帯、原数値) (単位:%)

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 24 年	3月調査	6.7	19.5	65.9	7.8
	4月調査	5.8	19.1	68.1	6.8
	5月調査	6.7	20.8	65.5	7.0

「低下する」と見込む割合の過去平均(平成 16 年 4 月～平成 24 年 5 月)は8.6%。

「上昇する」と見込む割合の過去平均(同上)は56.9%。

消費動向調査(全国、平成 24 年 4 月実施分)
調査結果の要点

平成 24 年 4 月の一般世帯の消費者態度指数(季節調整値)は、3 月の 40.3 から 0.3 ポイント低下して 40.0 となり、12 か月ぶりに前月を下回った。消費者態度指数を構成する 4 項目の意識指標のうち、「収入の増え方」は前月と比べて上昇したものの、「暮らし向き」「雇用環境」「耐久消費財の買い時判断」は低下した。

消費者態度指数の動きから見た 4 月の消費者マインドは、**持ち直し傾向にある。**
(据え置き、前月：持ち直しの動きが続いている。)

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	(前月差)
平成 24 年	2 月調査	39.9	(0.0)
	3 月調査	40.3	(0.4)
	4 月調査	40.0	(0.3)

平成 24 年 4 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」は 4 か月連続で増加した一方、「低下する」は 3 か月連続で減少した。また、「変わらない」は 4 か月連続で減少した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が依然として高水準である。**

(前月から表現の変更はなし。)

1 年後の物価の見通し(一般世帯、原数値) (単位:%)

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 24 年	2 月調査	7.3	21.6	63.4	7.8
	3 月調査	6.7	19.5	65.9	7.8
	4 月調査	5.8	19.1	68.1	6.8

「低下する」と見込む割合の過去平均(平成 16 年 4 月～平成 24 年 4 月)は 8.6%。

「上昇する」と見込む割合の過去平均(同上)は 56.8%。

消費動向調査(全国、平成 24 年 3 月実施分)
調査結果の要点

平成 24 年 3 月の一般世帯の消費者態度指数(季節調整値)は、2 月の 39.9 から 0.4 ポイント上昇して 40.3 となり、2 か月ぶりに前月を上回った。これは、消費者態度指数を構成する 4 項目全ての意識指標が上昇したためである。

消費者態度指数の動きから見た 3 月の消費者マインドは、**持ち直しの動きが続いている。**

(据え置き、前月：このところ持ち直しの動きがみられる。)

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	(前月差)
平成 24 年	1 月調査	39.9	(1.1)
	2 月調査	39.9	(0.0)
	3 月調査	40.3	(0.4)

平成 24 年 3 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」は 3 か月連続で増加した一方、「低下する」は 2 か月連続で減少した。また、「変わらない」は 3 か月連続で減少した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が依然として高水準である。**

(前月から表現の変更はなし。)

1 年後の物価の見通し(一般世帯、原数値) (単位:%)

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 24 年	1 月調査	8.1	21.8	63.1	7.2
	2 月調査	7.3	21.6	63.4	7.8
	3 月調査	6.7	19.5	65.9	7.8

「低下する」と見込む割合の過去平均(平成 16 年 4 月～平成 24 年 3 月)は 8.6%。

「上昇する」と見込む割合の過去平均(同上)は 56.7%。

消費動向調査(全国、平成 24 年 2 月実施分)
調査結果の要点

平成 24 年 2 月の一般世帯の消費者態度指数(季節調整値)は、1 月の 40.0 から 0.5 ポイント低下して 39.5 となり、3 か月ぶりに前月を下回った。消費者態度指数を構成する 4 項目の意識指標のうち、「耐久消費財の買い時判断」は前月と比べて横ばいとなったものの、「暮らし向き」「収入の増え方」「雇用環境」は低下した。

消費者態度指数の動きから見た 2 月の消費者マインドは、**このところ持ち直しの動きがみられる。**

(据え置き、前月から表現の変更はなし。)

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	(前月差)
平成 23 年	12 月調査	38.9	(0.8)
平成 24 年	1 月調査	40.0	(1.1)
	2 月調査	39.5	(0.5)

平成 24 年 2 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」が 2 か月連続で増加した一方、「低下する」は 2 か月ぶりに減少した。また、「変わらない」は 2 か月連続で減少した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が依然として高水準である。**

(前月から表現の変更はなし。)

1 年後の物価の見通し(一般世帯、原数値) (単位: %)

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 23 年	12 月調査	7.4	23.6	61.3	7.7
平成 24 年	1 月調査	8.1	21.8	63.1	7.2
	2 月調査	7.3	21.6	63.4	7.8

「低下する」と見込む割合の過去平均(平成 16 年 4 月～平成 24 年 2 月)は 8.7%。

「上昇する」と見込む割合の過去平均(同上)は 56.6%。

消費動向調査(全国、平成 24 年 1 月実施分)
調査結果の要点

平成 24 年 1 月の一般世帯の消費者態度指数(季節調整値)は、12 月の 38.9 から 1.1 ポイント上昇して 40.0 となり、2 か月連続で上昇した。これは、消費者態度指数を構成する 4 項目全ての意識指標が上昇したためである。

消費者態度指数の動きから見た 1 月の消費者マインドは、**このところ持ち直しの動きがみられる。**

(上方修正、前月：ほぼ横ばいとなっている。)

一般世帯の消費者態度指数の推移

		季節調整値	(前月差)
平成 23 年	11 月調査	38.1	(0.5)
	12 月調査	38.9	(0.8)
平成 24 年	1 月調査	40.0	(1.1)

平成 24 年 1 月の一般世帯の 1 年後の物価に関する消費者の見通しは、「上昇する」は 3 か月ぶりに増加し、「低下する」も 2 か月ぶりに増加した。また、「変わらない」は 3 か月ぶりに減少した。

消費者の物価予想については、**「上昇する」と見込む割合が依然として高水準である。**

(前月：「上昇する」と見込む割合が減少したものの依然として高水準である。)

1 年後の物価の見通し(一般世帯、原数値) (単位：%)

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 23 年	11 月調査	8.1	19.8	65.0	7.1
	12 月調査	7.4	23.6	61.3	7.7
平成 24 年	1 月調査	8.1	21.8	63.1	7.2

「低下する」と見込む割合の過去平均(平成 16 年 4 月～平成 24 年 1 月)は 8.7%。

「上昇する」と見込む割合の過去平均(同上)は 56.5%。